研究課題名	心大血管術後患者の転帰や ADL に及ぼす因子の検討
研究期間	実施許可日 ~ 2030年 3月 31日
研究の対象	2012年1月1日 ~2029年3月31日の間に、広島大学病院心臓
	外科あるいは循環器内科で心大血管手術を受けられた患者さん。
研究の目的・方法	研究目的:心臓外科術後は翌日から早期離床をはかり自宅退院し日常生
	活が自身で行えるようにつとめますが、近年高齢者や合併症などを有す
	る患者が多くなってきており日常生活ができるまでの回復に難渋し転院
	となる症例も存在します。また疾患や術式によっても術後の離床や日常
	生活活動の回復に難渋する原因は異なり、開心術(虚血性心疾患、弁膜
	症)・大血管疾患手術・経力テーテル的大動脈弁置換術、経皮的僧帽弁ク
	リップ術の術式別にその原因を調査したいと思います。疾患別、術式別に
	日常生活活動の回復に難渋する原因、転院となってしまう原因を把握す
	ることで、疾患別・術式別に早期より日常生活活動の回復が行える次施設
	を見据えた適切な多職種介入、連携をはかることができると考え、この研
	究を計画しました。
	研究の方法:本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。
研究に用いる試料・	カルテから調査する項目は以下の通りとなります。
情報の種類	• 基本的情報:疾患名、年齢、BMI、性別、合併症、生活状況(何人暮
	らしか、介護保険有無)、在院日数、転帰(自宅退院、転院、死亡)
	術前後情報:意識レベル(Japan Coma Scale、Glasgow Coma
	Scale)、ADL(Barthel Index、Katz Index)、骨格筋面積(CT
	より算出)
	・ 身体機能評価(術前後):片脚立位、6分間歩行テスト、5・10m歩
	行速度、Short Physical Performance Battery(フレイルのテス
	ト)、握力、膝伸展筋力、周径(上腕、下腿)
	・ 認知機能(術前後): Mini-Mental State Examination(認知機能の
	検査)
	・ フレイル評価項目:身体的フレイル、臨床フレイルスケール、
	Makizakoらの5つの質問紙、LSA、Lubben Social Network、
	GDS15
	・ リハビリ進行度:端坐位・起立・歩行開始日、100m歩行達成日、集
	中治療室活動度スケール(ICU Mobility Scale)
	• 術中所見:術式、出血量、人工心肺装着時間、大動脈遮断時間、挿管
	時間等全般
	• 血液検査所見: NT-proBNP、Hb、Cre、BUN、e-GFR、CRP等全

	般
	心エコー所見:EF、LAD、LVDd/s等全般
	• 術前合併症:脳関連、心臓関連、呼吸関連、背髄梗塞等全般
	・ 術後合併症: せん妄有無、嚥下障害合併有無、脳関連、心臓関連、呼吸関連、脊髄梗塞、創部関連
	(個人を特定可能な情報は解析に用いません)
外部への試料・情報	ありません
の提供	
利用または提供を開	本学における実施許可日(2022年2月25日)以降
始する予定日	
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別
	できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分か
	らないようにします。個人と連結させるための対応表は、研究責任者が保
	管・管理します。
研究組織	本学の研究責任者
	広島大学病院リハビリテーション科 教授 三上 幸夫
その他	
研究への利用を辞退	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしく
する場合の連絡先・	はその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんの
お問合せ先	で下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生
	じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表
	されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを
	結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果
	には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。
	また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせくだ
	さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創
	性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧するこ
	とができますので、お申し出ください。
	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5566
	広島大学病院診療支援部リハビリテーション科 職名 理学療法士 三 尾 直樹